



令和8年度

苫小牧市子ども・若者支援地域協議会

代表者会議



令和8年5月27日（水） 13時30分～
苫小牧市役所9階 議会大会議室

【 次 第 】

1 開 会

2 挨拶 苫小牧市子ども・若者支援地域協議会 会長 野見山 慎一

3 報 告

- (1) 令和7年度事業報告について
- (2) とまこまい子ども・若者なんでも相談案内『KOWAKA』の相談件数
- (3) 北海道教育庁胆振教育局
- (4) 苫小牧市教育委員会指導室

4 議 題

- (1) 令和8年度運営方針（案）について
- (2) その他

5 閉 会

【 報 告 】

(1) 令和7年度事業報告について



① 会議の開催状況等

○代表者会議

【開催日】 令和7年5月22日（木）13時30分～14時15分 苫小牧市役所9階大会議室

【参加者数】38名（31機関・団体）

【開催内容】

報告

- (1) 令和6年度事業報告について
- (2) とまこまい子ども・若者なんでも相談案内『KOWAKA』の相談件数
- (3) 生徒の傾向と必要とする支援について（北海道教育庁胆振教育局）
- (4) 不登校対策と生徒の傾向（苫小牧市教育委員会指導室）

議題

- (1) 令和7年度運営方針（案）について
- (2) 苫小牧市子ども・若者支援地域協議会構成機関ガイドブックについて
- (3) その他

○実務者会議

【開催日】 令和7年10月27日（月）13時30分～15時40分 苫小牧市民活動センター1階多目的ホール

【参加者数】35名（31機関・団体）

【開催内容】

・講演、グループワーク

テーマ【子ども・若者支援を行っている関係機関について知る機会、話す機会を作り、分野を超えたネットワークについて考える】

講師：合同会社Co-Work-A 代表社員兼CEO 田中 成幸 氏

○研修会

【開催日】令和8年2月9日（月）13時30分～15時30分 苫小牧市民活動センター1階多目的ホール

【参加者数】32名（35機関・団体）

【開催内容】

①講演（行政説明）【切れ目のない支援の実現に向けて】（オンラインによる基調講演）

講師：こども家庭庁支援局虐待防止対策課（相談支援係） 課長補佐 深町 秀樹 氏

②パネルディスカッション【苫小牧の子ども・若者を支えよう！みんなでつなぐ、切れ目のない未来へ】

講師（コーディネーター）：合同会社Co-Work-A 代表社員兼CEO 田中 成幸 氏

登壇者（パネリスト）

・苫小牧市福祉部発達支援課

課長 井上 あゆみ 氏

・苫小牧市教育委員会指導室

統括SSW 前田 勝也 氏

・苫小牧市健康こども部こども相談課

こども相談監 米田 浩二 氏

・苫小牧工業高等学校 定時制課程

教務主任 藤原 隆 氏

・苫小牧市長 金澤 俊 氏

③講演（事例紹介）【他協議会とネットワーク連携の取り組みについて】

講師：合同会社Co-Work-A 代表社員兼CEO 田中 成幸 氏

○「構成機関ガイドブック」

各構成機関にご協力いただき、令和7年5月の代表者会議を経て承認。構成機関に配付。

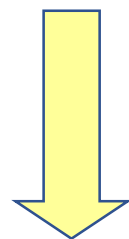
○「こども若者支援カード」（中高生世代向け）

青少年課事業等の活動を通して、こどもたちの声もふまえ、周知カードを作成。令和8年度～設置、配布予定。

② 高等学校・通信制高校等へ協力依頼、取組

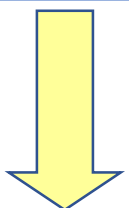
内容

- ・相談内容は、心の健康に関することが多い
(不登校、中途退学にもつながっている内容もあり)
- ・学校以外に生徒が悩みを相談できる場所が少ない



課題

- ・高校等との連携、進路等の選択肢の拡大
- ・相談先等の選択肢の拡大



協力 取組

- 苫小牧地区各高等学校、市内通信制学校（キャンパス校）
 - ・本協議会の概要や子ども・若者育成支援の取組について説明
 - ・相談先の選択肢として、相談案内「KOWAKA」の周知を依頼
- 市内定時制高校（生徒への周知活動）
 - ・ホームルームで生徒に対し、「KOWAKA」の概要について説明
 - ・学校との連携体制の構築

③ 子ども・若者に向けた取組

内容

- ・相談支援以外での中高生世代に対する孤独・孤立の解消
- ・児童センター内で、小、中、高校生向けに相談場所を設置

課題

中高生の居場所の提供

取組

- **児童センターの利用促進**
 - ・中高生が利用できる時間帯に設定（中高生タイム週2回）
 - ・中高生が集まりやすいイベントによる参加促進（とまチル月1回）
- **他機関相談事業との連携**
 - ・困りごと等に対し安心してお話ができる場所
 - ・関係機関同士の連携が円滑

(2) 令和7年度とまこまい子ども・若者なんでも相談案内



『KOWAKA』の相談状況

① 相談者・相談方法別 件数

本人からの相談
R6 : 18、R7 : 17
同数程度有

(件)

年齢別		未就学児	小学生	中学生	15~17歳	18~19歳	20~30歳	31~39歳	その他	R7	R6	R5	R4
相談者・相談方法													
本人	簡易申請						3			3	0	1	1
	来庁				3	2	2	1		8	12	3	6
	電話							1		1	2	1	2
	学校訪問				5					5	4	0	0
家族	簡易申請				1					1	1	2	1
	来庁		12		3	2	2			19	25	7	8
	電話		1		4		1			6	10	14	10
支援機関	簡易申請									0	0	0	0
	来庁									0	0	4	0
	電話									0	0	0	3
その他	簡易申請									0	0	0	0
	来庁									0	2	0	0
	電話									0	0	1	0
合計		0	13	0	16	4	8	2	0	43	56	33	31

相談内容の変化

(件)

② 相談内容件数

相談内容 \ 年齢別	未就学児	小学生	中学生	15～17歳	18～19歳	20～30歳	31～39歳	その他	R7	R6	R5	R4
学校生活									0	0	1	4
就学・学習支援									0	0	0	3
進路（進路変更含む）									0	1	0	2
いじめ				1					1	3	0	1
ひきこもり・不登校		11			1	1			13	10	4	1
家庭生活									0	0	0	4
心の健康		1		10	2	3	1		17	7	4	2
児童虐待・養護									0	0	1	1
子育て									0	4	7	6
親子関係				3			1		4	13	3	1
交友関係		1		1					2	1	3	2
生活困窮・借金				1		1			2	1	4	1
障害(発達含む)									0	8	1	0
就労・失業					1	3			4	3	5	0
その他									0	5	0	3
合計	0	13	0	16	4	8	2	0	43	56	33	31

③ 年齢別件数

・小学生世代増
 ・高校生世代の
 相談が継続して 多い

(件)

	未就学	小学生	中学生	15歳 ~17歳	18歳 ~19歳	20歳 ~30歳	31歳 ~39歳	その他	合計
R7	0	13	0	16	4	8	2	0	43
R6	1	9	5	22	5	10	1	3	56
R5	0	7	3	4	8	6	2	3	33
R4	0	2	7	8	5	4	3	2	31

④ 令和7年度の相談傾向

(1) 相談者

- ・相談合計43件のうち26件（約6割）が家族からの相談
- ・本人からの相談は17件（R6年度18件）
- ※合計R7：43件 R6：56件 →13件減ったが本人からの相談は同数程度

(2) 年齢・件数・内容

対象者の年齢区分	R7全件数	R6全件数	R7の主な相談内容
未就学	0	1	
小学生	13	9	ひこもり・不登校
中学生	0	5	
15～17歳	16	22	心の健康
18～19歳	4	5	心の健康・ひきこもり
20～30歳	8	10	心の健康・就労失業
31歳～39歳	2	1	心の健康・親子関係
その他	0	3	
合計	43	56	

R7		合計
相談状況	継続	31
	継続 (他機関併用)	2
	終結	10
	合計	43

R7		合計
相談結果	問い合わせ 回答	0
	他機関紹介	8
終結のみ	その他 (傾聴)	2
	合計	10

- ・前年度より「ひきこもり、不登校」、「心の健康」が増加、「親子関係」「子育て」「障害」等の相談は減少。
- ・中学生世代は、KOWAKAには0件であった。R8はすでに小中学生、高校生世代の相談があるため、継続した連携と小学生世代への早期対応も必要。
- ・より専門的な支援や相談ニーズの変化への対応も必要となってきた。

(3) 報告
北海道教育庁
胆振教育局 (苫小牧地区高等学校等)

(4) 報告

苫小牧市教育委員会指導室

【 議 題 】

(1) 令和8年度運営方針 (案)

方針

苫小牧の子ども・若者を支えよう！
みんなでつなぐ切れ目のない未来へ

(子ども・若者に対する切れ目のない支援体制の構築)

課題

令和7年度の「KOWAKA」相談状況や協議会活動から見える課題

①制度や支援が途切れやすい高校生世代に対し、
学校等との連携強化 (継続)

②複合化・複雑化した課題に対し、構成機関や
関係団体間の支援体制確立 (継続)



取組

重点方針：小中高高校生世代への支援強化

未就学児

小学生

中高高校生世代

若者

令和8年度の取組

- ① 構成機関の連携強化
- ② 小中高生世代に拡大した孤独・孤立の解消
- ③ 『KOWAKA』の認知向上

① 構成機関の連携強化

★各会議の開催

○代表者会議

【開催日】 令和8年5月27日（水）

【開催内容】 報告 (1) 令和7年度事業報告について
(2) とまこまい子ども・若者なんでも相談案内『KOWAKA』の相談件数
(3) 生徒の傾向や必要な支援等について（北海道教育庁胆振教育局）
(4) 不登校児童生徒の状況や本市の取り組み等（市教育委員会 指導室）

議題 (1) 令和8年度運営方針（案）について
(2) その他

○実務者会議

【開催日】 令和8年10月下旬～令和9年2月（予定）

【開催内容】 グループワーク（講師等未定）

★その他

- ・構成機関ガイドブックの更新、こども若者支援カードの配付等
- ・構成機関の活動、取組を知る等
（基盤の強化。ニーズの変化に対応できるよう『KOWAKA』相談案内窓口の専門性の向上と関係機関の連携強化につなげる）

基盤の強化 → 切れ目のない支援（未来）へ

② 小中高生世代に拡大した孤独・孤立の解消

- ・小中高生に対する居場所づくりの取組 → 相談しやすい環境を構築
- ・苫小牧地区各高等学校等に対する不登校生徒及び中途退学者状況調査を継続
- ・高校中退者等の進路の選択肢拡大につなげる取組

③ 『KOWAKA』の認知向上に向けた取組

- ・小学校、中学校、高等学校等への相談案内「KOWAKA」の存在を周知
- ・SNSを使った周知の継続
- ・市内公共施設等へ「KOWAKA」のポスター及びチラシの設置を継続依頼

(2) その他

